



**この町で生き続けるための
"足"を守るために**
～岩泉町での暮らしを支える交通を考える～



岩手県岩泉町

岩手県にある「岩泉町」を知っていますか？

【人口】 **7,606人**

【高齢者数と割合】

65歳以上 **3,651人 48.0%**

70歳以上 2,950人 38.8%

75歳以上 2,157人 28.4%

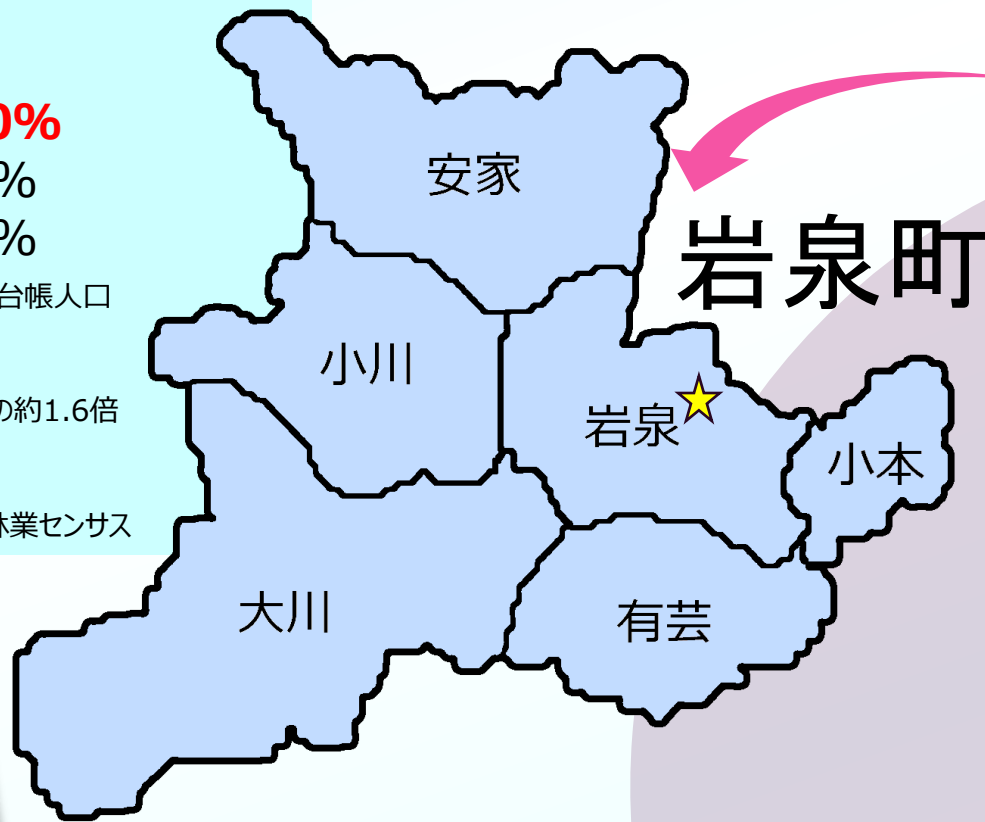
※令和8年2月末の住民基本台帳人口

【面積】 **992.33km²**

※香川県の約1/2、東京23区の約1.6倍

【林野率】 92.9%

※2020農林業センサス



岩手県の中の岩泉町



日本の中の岩手県



国指定天然記念物・日本三大鍾乳洞
「龍泉洞」が有名です！（★）

岩泉町での生活と課題

1. **病院は岩泉地区に1院**
(各地域での診療所開設もあるが月数回)
2. **日用品・食料品を販売する店舗数の減少**
(中心部に集中し、2地域には商店がない)
3. **高齢者特有の課題**
(免許返納、バス停までの距離、ネットに不慣れ)
4. **高校生の足の確保**
(町内唯一の高校の存続は町の重要課題)

・とにかく広い！
・集落が点在！

通院や買い物で他市町村に行くためにも移動が必要

病院、高校、店舗は岩泉地域に集中



今、この町の移動はどうなっている？

- 主な移動手段は自家用車、バス、徒歩
- バス路線はあるが、本数が少なく、必要なときに買い物や病院に行けないことがある
- 運行本数減少で学生の保護者の負担も増化
- バス停が遠くて高齢者が歩いていけない、買い物した荷物を抱えて歩くのが大変
- 高齢化と過疎化が進み、移動手段の確保が生活の質に直結する

なぜ公共交通の再構築が必要？

- 1 生活機能の偏りと孤立化** … 中心部への機能集中と高齢化により、移動手段を失った高齢者の孤立リスクが拡大している。
- 2 リソースの枯渇** … 事業者の担い手不足と自治体の財源難で、増便や路線拡大といった従来型の交通維持が困難になっている。
- 3 広域移動の効率化** … 限られた予算と人員の中で、広い町域の移動利便性をどう確保するかが課題となっている。

「移動できるかどうか」が、地域に住み続けられるかを左右する時代
地域に合った新しい交通の形を考える必要がある

東大生のみなさんに期待すること

学生の視点が
まちを支えるヒント
になります

- 1 岩泉町の交通事情と住民ニーズの現状把握 ← 町の公共交通の実態調査、町民からのニーズの聞き取り
- 2 「移動」×「生活サービス」による付加価値の創出 ← 学生ならではの視点で幅広い視野からの対応策の検討
- 3 具体的経費と費用対効果の提示 ← 実効性と持続性を持たせるため「経費」「財源」「住民負担」を考える
- 4 実効性のある「低コストなIT活用」の模索

今後のスケジュール

令和8年度は「岩泉町
地域公共交通計画」の
見直しを行います。

活動月	活動内容
2026年7月	情報収集、調査、オンラインでの活動
8月	現地活動①、調査結果等の整理
9月	現地活動①を踏まえた課題の整理、施策の検討
10月	現地活動②、調査結果と検討内容の共有
11月	現地活動②を踏まえた課題整理、施策検討②
12月	オンラインミーティング
2027年1月	オンラインミーティング
2月	現地報告会

公共交通に係る庁内ミーティングや研修などの開催時は随時お知らせしますので、都合が合う場合はオンラインでの参加をご検討ください。
※必須ではありません。

岩泉町の中心部

